

FRISKY DOG[®] SPORT

vol.14



フリスビードッグ アジア選手権特集号

- フリスビードッグアジア選手権 in 播磨科学公園都市
- 参戦記
- 大会レポート
- 大会リザルト

フリスビードッグ アジア選手権 2006 JAPAN

DAY1 2006.6.3
西日本カップ in 播磨科学公園都市

2006年第1回の西日本チャンピオンカップが晴天の中開催されました。

チャレンジクラス、ビギナークラス、パフォーマンスフリー、の4カテゴリーで半年間の優勝者が集結。開会式ではジャパンファイナルさながらの呼び出しで一人ひとり入場。初めての大舞台に緊張と期待で胸膨らませながらの開会式でした。



天気は最高、6月の初旬にしては温度が上がり、真夏と同じ位の暑さの中、各カテゴリーの第1回戦が始まりました。2回戦の頃より少し風が出て来た為、上手くフリスビーを風に寄せ高得点をとった選手や、風の影響で得点が伸びなかった選手と明暗様々でしたが、終始和やかな雰囲気で行いました。

そして迎えた決勝ラウンド、「緊張する〜!!」の声が多く聞かれる中、波乱含みの決勝ラウンドが幕を開けました。

まず、チャレンジクラス決勝ラウンド。予選2位通過の、川崎良輝&HYOGO チームが、決勝ラウンドで1ミスしたものの合計92ポイントと後続に大きく差をつけての暫定トップ。

2004年より毎年開催してきた日韓戦。
今年度より台湾選手団の参加もあり、
『フリスビードッグアジア選手権』と名称を変えて、播磨科学公園都市において開催。日本全国から強豪チームが集結し、白熱した戦いが繰り広げられました。

JAPAN-KOREA-TAIWAN FRIENDSHIP FRISBEEDOG ASIAN CHAMPIONSHIP 2006 in JAPAN



日時

2006年6月4日(日)

会場

播磨科学公園都市

- 主催 日本フリスビードッグ協会
- 後援 兵庫県／たつの市／たつの市教育委員会／上郡町／上郡町教育委員会／佐用町／佐用町教育委員会
播磨高原広域事務組合／大韓民国総領事館／台北駐大阪経済文化辦事處／Discovering The World
- 協賛 ネスレ ピュリナ ペットケア株式会社／株式会社チョイス／レッドハート株式会社
株式会社三栄コーポレーション／ブラックウッドジャパンコーポレーション／ライト株式会社
有限会社神戸工房／有限会社拓志



そして、このチームの優勝に待ったをかけたのが予選通過1位の 助定潤司&モナ チーム。決勝ラウンドも危なげないパーフェクトプレーを展開。暫定トップの川崎選手も、このプレーには半ばあきらめ顔。ラストは見事にデッドゾーンでのジャンピングキャッチ!!! 戻るモナの姿に誰もが勝利を確信し、川崎選手がガクッと肩を落とす。。。

・・・と、次の瞬間、なんと、まさかの糞尿行為。誰もがその目を疑い、会場からは悲鳴にも似たため息が漏れる…。

結果、合計89ポイントでわずかに及ばず、優勝カップを手にしたのは川崎良輝&HYOGOチーム。助定潤司&モナチームは第2位に終わりました。第3位は梅田浩一&れいチーム70P、第4位は吉川真樹&否チーム69P、第5位は井手元ルミ&もでな*ふらっぶチーム合計61P、第6位由上南美&志摩チーム合計60Pでした。

ビギナークラスの決勝ラウンドでは予選通過ポイントは1位～5位のポイント差が7ポイント、どのチームが優勝しても可笑しくない状態で始まりました。

予選通過4位の仲兼久&Luiceチームは4投中10Pが3投でなんと合計113ポイント、捲りを入れて2位に浮上、予選

通過77ポイントを出しトップ通過をした森脇美由紀&REALチームが1位を守り合計118ポイントと2位に6ポイントの差を付け逃げ切り優勝を果たしました。

今年度より新しい競技として始まったトライアルボールチャンピオン決定戦。ボールを使う競技ということで色々な犬種が参加、小型犬は小さな身体で一生懸命走る姿は微笑ましくさえ感じました。

オープンクラスでは安定したスローイングの芦田恵美&Z王子チーム、2ラウンド目も5投球でオール7Pエリアで持ち帰り、合計72ポイントを獲得。2位の寺島大蔵&ももチームに僅か1P差で逃げ切り優勝を果たしました。

スタンダードクラスでは渥美ひとみ&毬菜チームが2位の藤岡正信&ころんチームに25P差を付け優勝しました。

スーパーミニクラスでは3名エントリーで僅か1P差の混戦の末、姫田真明&コロチーム（パビヨン）が優勝しました。

パフォーマンスフリーでは4チームがエントリー。愛犬と楽しむパフォーマンスを繰り広げました。特に会場を沸かせたのは藤本真由美&アッサムチーム。阪神タイガースの衣装を着てトイプードルと共に登場したこのチーム。出産間近にもかかわらず参戦しましたが惜しくも3位、接戦の末、福原芳郎&ミニチームが優勝しました。

今年度初めてのチャンピオン決定戦は暑さの厳しい中、又楽しい中でも緊張した様子で西日本カップは終了しました。



フリスビードッグ アジア選手権 2006 JAPAN

DAY2 2006.6.4 アジア選手権 ディスタンスの部

アジア選手権初代ディスタンスチャンピオンがいよいよ決定する。日本勢にとっては、真に『ディスタンス王国 日本』と言われるだけに、初代チャンピオンの座は譲れないことだろう。

大会当日の朝、気温の上昇が予想されることから、フリーフライトとディスタンスの両部門にエントリーしていた台湾チームから、フリーフライトに専念したいという理由でディスタンスの部棄権の申し出があり、犬の体調を考えての決断ということで、残念ながら、日本チームのみでのディスタンスの部開催となった。

出場チームは、地元関西を中心に、四国・中国・九州・東海・関東から104チームの出場となり、予選第1ラウンドがスタートした。天候は晴れ、しかし、暑さが気になるところ。風も若干あるものの、スローイングには問題なさそう。



優勝：島本圭悟 & Beak



準優勝：森脇俊昭 & BAHT



第3位：西山哲也 & ハンター

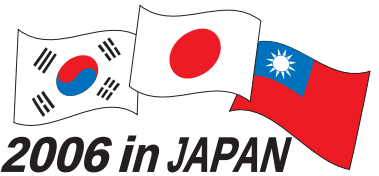


第4位：三浦杏奈 & CHERRY



第5位：間 禎永 & Tachyon

JAPAN-KOREA-TAIWAN FRIENDSHIP FRISBEEDOG ASIAN CHAMPIONSHIP 2006 in JAPAN



実力ある強豪チームが集結した本大会、予選第1ラウンドは、島本圭悟&BEAKチームが42ポイントでトップ通過。その後、38ポイントで間禎永&Grassチーム、37ポイントで田口佳奈&LUKEチームと、今シーズン好調のチームが続き、以下は34~28ポイントにたくさんのチームがひしめきあい、混戦状態のまま第2ラウンドへと進む。

決勝進出7チーム枠をかけての予選第2ラウンドは益々ヒートアップ。エントリー順が進むにつれて、順位がめまぐるしく入れ替わる状況が終盤まで続き、全く目が離せないラウンドとなった。そんな中、力を出し切り、いずれ劣らぬ強豪7チームが、見事決勝進出を果たし、優勝争いに名乗りを上げた。

まず、7位通過は60ポイントの助定潤司&モナ、6位通過は同じく60ポイントで間禎永&Tachionの2チーム、5位通過は61ポイントの横山泰久&ナミチーム、4位通過は64ポイントで森脇俊昭&BAHTチーム、3位通過は65ポイントの三浦杏奈&CHERRYチーム、2位通過は66ポイントの西山哲也&ハンターチーム。ここまでの6チームのポイント差はわずかに6ポイント、予選順位など無いと言ってい



い程の大混戦。そして、この混戦を一步抜け出しての予選トップは、予選合計82ポイントを持って島本圭悟&Beakチーム。以上の7チームの中から、初代チャンピオンが決定することとなる。

決勝ラウンドは各チーム共に高ポイントを狙っていくしかない。ファイナリスト7チームの気持ちや周囲にも伝わってくるようだ。そして、より一層の緊張感が場内を包み込んでいく。ファイナリスト7チームは、それぞれの思いを込めてフリスビーを投げ、愛犬がそれをキャッチしていく…。

全てのチームが力を出し切り、無心になって戦ったチャンピオン決定戦、初代ディスタンスチャンピオンの栄冠を手にしたのは島本圭悟&Beakチーム。決勝ラウンドも見事なプレーで場内を魅了し、28ポイントを獲得。合計110ポイントでのポールトゥーフィニッシュで幕を閉じた。



PARTY



6月3日(土)、西日本カップの大会終了後、台湾選手を交え、ウェルカムパーティーを開催しました。

会場内は終始和やかな雰囲気。国や言葉は違っても、フリスビードッグを愛するもの同士、共通の話題には事欠かず、会場のあちらこちらで、台湾選手を交えて歓談の輪が出来上がり、あっという間に終了時間。翌日の互いの健闘を祈りながら、閉会となりました。

フリスビードッグ アジア選手権 2006 JAPAN

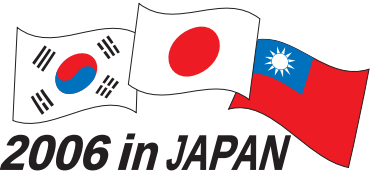
DAY2 2006.6.4 アジア選手権 フリーフライトの部

日本チーム7チームに台湾よりの3チームを加え戦われたアジア選手権フリーフライトの部。ハイスピードな技の連続が目立つ日本チームのフリーフライトに対しパフォーマンスに重点を置いた台湾のチームといった、対称的なルーチンの違いが見る目を楽しませる選手権となった。

アジア選手権でのルールは、120秒間のフリー演技を2ステージ行い、その合計ポイントで競うというもの。ファーストステージを終わって、田淵義博&SOPHIAチームが76.76ポイントでトップ、わずか0.17ポイント差で黒田昌克&シャオロンチームが追うという白熱した戦い。勝敗はセカンドステージに持ち越された。

アジア選手権フリーフライトの部入賞者
(左から) 第2位田淵選手、優勝黒田選手、第3位間選手

JAPAN-KOREA-TAIWAN FRIENDSHIP FRISBEE DOG ASIAN CHAMPIONSHIP 2006 in JAPAN



セカンドステージでは、高さのある技を決める 田渕義博 & SOPHIA チーム、ハイスピードの 黒田昌克 & シャオロン チームはもちろん、紅一点、華麗なパフォーマンスとスピードを併せ持つ 間美加 & Grass チーム、地元兵庫の期待の新星 南浩一 & グローリー チームが80ポイント台という高ポイントを次々にマーク。

そして、それに迫る勢いで、セカンドステージで素晴らしいパフォーマンスを見せてくれたのが、台湾からの呉昆童 & 妮妮 チーム。着実なプレーで上位陣を脅かした。



結果、この白熱した戦いを制し第1回アジア選手権フリーフライトの部チャンピオンの栄冠に輝いたのは、セカンドでパーフェクトに近いハイスピードな演技を見せた 黒田昌克 & シャオロン チーム。そして、わずかの差で2位 田渕義博 & SOPHIA チーム、3位に 間美加 & Grass チームと言う結果となった。また、セカンドラウンドで素晴らしい追い上げを見せた、台湾の 呉 & 妮妮 チームは第5位と、入賞まで至らなかったものの、あとわずかで入賞という善戦を見せた。

TEAM TAIWAN



呉 昆童 & 妮妮



何 財源 & 阿花



沈 宏偉 & STAR



今回出場してくださった台湾チームは、TFDC（台湾フリスビードッグクラブ）の皆さんです。クラブ発足から3年、現在では、年数回の大会などを開催していらっしゃいます。今年11月にも大会を企画中で、「日本からもぜひ参加してください！」との事ですので、ご興味のある方は参加されてみてはいかがでしょうか？

フリスビードッグ アジア選手権 2006 JAPAN

ディスタンスの部 準優勝

島本圭悟 & BEAK

「Paul! Beak! 今日も一日頑張るかぁ。フォロー頼むぞ! へ(^.^)ノ」

朝の日課であるラジオ体操をして、練習をして…でも、いつもと違うドキドキ感。フリスビーをはじめて5年。こんなに大きな舞台に立つ日が来るなんて思ってもみませんでした。

5年前、小さな小さなPaulがやってきて、犬と人が一緒に楽しめるフリスビー競技があることを知りました。最初は、へなちょこディスクを投げるのが精一杯だった僕。それでも楽しくて、毎日毎日Paulとディスクを追いかけていました。

1分間の勝負をドキドキしながらも楽しいと感じさせてくれたPaul。その3年後に来たのは、大人しいPaulとは正反対の騒がしいBeak!

あいつには本当に参った! 今まで我が家にいなかったキャラの持ち主。ほんとに凄い! 家族みんなが、あの落ち着きのなさに手を焼いて…(現在進行形 ^_^;) こいつとフリスビーできるのか?!

でも、こんなBeakをここまで育ててくれたのは、言うまでもなくPaul! PaulなくしてBeakは語れない!! Beakにとって、『フリスビー < Paul』

Paulがいるからアジア選手権を戦えた僕とBeakがいます。Paulありがとう♪

試合当日の朝、優勝CUPを生で見えて、やる気が出てきた僕。ボーダーライン7位に入るには62~65ぐらい? 優勝狙うには70以上? 欲しいなぁと思い、1ラウンド目に挑みました。



自分では、5投パーフェクトキャッチできたらいいなぁと思っていたので、42ポイントが出たとき、鳥肌が立ち、震えました。そして、皆さんから頂いた声援と拍手が、いつも以上に鮮明に聞こえました。でも、実は…、この時、頭の中は真っ白でした。

「兄ちゃん緊張してるなぁ」と僕の気持ちを感じ、落ち着かせてくれたのはPaul。でも、僕はいっぱいいっぱい2ラウンド目を迎えました。ちなみに、Beakはというと…、相変わらずのノー天気さ(^_^;) あいつがうらやましい。

2ラウンド目は、頭の中真っ白のまま挑み、まったく覚えていません! いつになくBeakの手元が良かったことに驚いたことだけは覚えています…。

最終ラウンド! 一投目、チョロでも何でもいから、とりあえずコートに入れて自分を落ち着かそうと思い投げたスローがデットエンド! MCからの「さあ記録を狙いましょう」という一言に舞い上がり、コースアウト! 終了!!

…あちゃあやってもた! (+o+)

でも、応援してくださった皆さんから「ようやった!」「国際選手権初代チャンピオンやでえ!」とっていただき、嬉しくて胸がいっぱいになりました。本当にたくさんの方に、たくさんのことを教えて頂いたことを改めて実感しました。

皆さんのおかげで最後までやりきることができました。言葉では言い表せない程の感謝の気持ちを、この場をお借りして…本当に本当にありがとうございます。

僕たちは幸せ者です! !

《P.S》

一緒に泣いて笑って…いつも支えてくれる父さん・母さん ありがとう♪ Paul&Beakのお世話をしてくれるばあちゃん・可愛がってくれるおねえ。ありがとう♪ これからもよろしく!!

ディスタンスの部 準優勝

森脇俊昭 & BAHT

2年程前、ふと立ち寄った播磨科学都市公園で初めて目にしたディスク大会。その時の興奮と感動は今でも鮮明に覚えています。

2年程前、ふと立ち寄った播磨科学都市公園で初めて目

にしたディスク大会。その時の興奮と感動は今でも鮮明に覚えています。

それ以来、フリスビードッグに魅せられ、いつかはこの地でプレイをしたい！表彰台に上がりたい！と、大きな目標を持って挑んできたこの2年間でした。



BAHTに本格的にフリスビーを教えだした矢先の2006年9月…、生後8ヶ月過ぎの若さで、大病を患い余命1週間を告げられた。家族の『元気になって思いっきりフィールドで競技をさせてあげたい』と願う気持ちと、BAHTの生きたいという強い意志が叶っての完全完治の奇跡的な復活劇。今でも、あの当時の事を思うと悲しくなる。

そんな思いを心の片隅に抱きながら、播磨会場で行われたアジア選手権大会。100を超えるエントリー数に大々的なセレモニー。その上、強豪多数が集まる中で圧巻されながら(笑)、何とか自身のモチベーションを整え、小細工なし(出来る技術もないが…)に果敢に攻めた事が功を奏し、その甲斐あってファイナルラウンドへと駒を進める事が出来た。

まあ、決勝ラウンドでは1位との差が開きすぎていたので、逆に無心になれる事が出来、BAHTに対してもプレッシャーを与えず、伸び伸びとフィールドを駆け巡らせる事が出来たと思う。

そして、自身も“愛犬と一緒に楽しむ”と言う本来の目的を果たす事が出来た上に、大きな賞まで頂けた事は、今後の競技においても大きな弾みになるものだと思信しています。

関西本部を含めた数々のスタッフの皆様の日頃からのアドバイスを実戦で生かせ、また、沢山の方からも応援を頂きながらの入賞は大きな財産となり、とても感謝しています。

準優勝ながら、最後に夢を運んでくれたBAHTに心からエールを送りたい。

『ありがとう！』
そして『おめでとう！』



ディスタンスの部 第3位

西山哲也 & ハンター

今回は台湾選手も加わったゲームになる！と聞いた時から楽しみにしていました。昨年のファイナル会場で台湾のプレイヤーの方に声をかけられ、通訳の方を交え少し話しをしていたからです。そして彼は今回も私の事を覚えていてくれ、声を掛けてきてくれました。(少し感激)

'05ファイナル記念大会に次ぐ100チームオーバー エントリーの中、いつもの相棒ハンター、そして、ハンターとシエルの娘アテナで、初めてのゲームでした。アテナは義姉の元、囑託犬の中ハイパー旋風を撒き散らしているようですが、手元の問題もあり、修正もかねて預かる事になっていたの、前日は祐真でユース、私は記念大会で楽しみました。

エントリーNo.101 ハンター。「ワンオーワン、ええ番号やな〜。」ひそかにお立ち台を目論みました…、が、トップ通過の島本BEAKチームとは16P差もあったので、「二位をキープでいいか！」…と思っていたら、ライン際のハンターのあやしい“ミス”…。

いつも何かやらかしてくれるハンター。でも頼りにしてろぜ！開き直りのDead End Catch! ありがとう！

今年はサリーを祐真と共用しようと思っていたのに、あの活躍を目の当たりにすると…。

やっぱハンターで行こう！

いや…でも、たまにはサリー…、いや……。 (笑)



フリスビードッグ アジア選手権 2006 JAPAN

フリーフライトの部 優勝

黒田昌克 & シャオロン

今回のアジア選手権は、僕とシャオロンのチームにとって約半年ぶりのフリーフライトでのエントリーでした。一昨年、アジア選手権の前身である日韓戦（プロプランカップ）では決勝に残るのがやっとという結果だったので久しぶりだし結果は気にせず楽しめたらいいなあと思いながら播磨に向かいました。

暑くなりそうだったので同時にエントリーしていたディスタンスは同居犬のファティマに代打として出てもらい、シャオロンはフリーに集中することにしました。

1ラウンド目は、練習不足が響いてミスを連発。最後まで立て直すことができず、不満の残る内容でした。

失敗はすべて僕のミスでシャオロンはがんばってくれているだけに申し訳ない気持ちでいっぱいでした。このままではいけないと初心を思い出し、「2ラウンド目は楽しんでやろうね。」とシャオロンに語りかけました。

そして2ラウンド目。

開き直ったのが良かったのか不思議と緊張もなくコートイン。始めのキックバタフライをキャッチしてくれたことでリズムをつかむ。ミドルスローのレトリリーブでもたつく



ものの、以前は全く持ってこなかったことを考えれば上出来。そう考えると気持ちにも余裕ができ、シャオロンの呼吸と僕の呼吸がシンクロしていく。そうなれば不思議とキャッチも決まりだし、最後のフリップドッグキャッチも成功。

予め考えていたルーティンを正確にこなすことは、僕には簡単なことではないのですが2ラウンド目はほぼ予定していたルーティンをこなすことができ、徐々に満足のいくラウンドでした。色々課題もありましたがシャオロンのおかげで優勝できて良かったです。

今回は韓国のチームが出場できなかったことが残念でしたが、台湾のチームのユニークなプレーも見ることができてとても楽しかったです。

最後に、演技を見てくださった全ての方々に感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

フリーフライトの部 準優勝

田淵義博 & SOPHIA

今回の結果は、強豪チームがあまり参加していなかったことに尽きると思います。

韓国チームは、残念ながら、またしても参加できませんでしたが、台湾のチームと接してみて、やはり、彼らも、ディスタンス競技よりも、フリーフライトの競技に関心があり、競技仲間として、積極的に話しかけてられました。ある大学で接したことのある、台湾の留学生同様、日本語に不自由することなく、普通に会話もでき、これからの交流を考えると、非常に有利な点ではないかと思いました。

台湾チームの競技者は、まだ、それぞれの技のつながりをスムーズにおこなうところまでは完成されていず、個々の技について、良いところがあるのですが、躍動感に欠けているのではないかと思います。その結果、枚数もかな



り少なかったようです。日本チームのプレーを見て、その点を身につけられると、韓国チームと同様、楽しく、ともに競え合えるチームになると思います。数年後には、勝負は終わらなければわからないような、実力の伯仲した競技会になることと信じています。ただ、心配なのは、日本に、対抗できるチームが育っていくのかどうかということです。そして、わがチームがそのときまで現役でいられるのかどうかということも非常に不安です。



わがチームのフリスビーの楽しみ方は、できることは何でもやろうということです。上手下手はともかく、人も犬も楽しくできているかどうかということを大切にしています。そのようなスタイルでやっていけるのも、ソフィアのフリスビーに対する飽くなき積極性と、理解のよさのおかげでしょう。特別、必死になって、訓練した覚えも無く、遊びながらやっていたことをつなげているのが、今の私達のフリー演技になっているだけのことです。そんなチームが、今回準優勝を頂いたことは、光栄ではありますが、運よくというしかないでしょう。これからも、ディスタンスに、フリーフライトに、ソフィアと楽しくプレーし、シニアでは、ナイトと楽しく遊んでいきたいと思っています。ただ、残念なことは、私がもう少し若ければ、もっといろいろ楽しめるだろうということです。

ソフィアが血を受け継いだマロンと紋次郎の出会いと、銀香と交換してくださいと言うわがママを聞き入れてくださった佐藤さんに、大変感謝しております。また、参加者の皆さんにわけへだて無い応援に感謝し、これからも私たちのプレーを見守ってくださることを心より願っています。最後に、日本フリスビードッグ協会が、進みべき道を間違えることなく王道を歩み、日韓台の交流にも大いなる力を発揮されんことを祈ります。

フリーフライトの部 第3位

間 美香 & GRASS

昨年までの日本・韓国に台湾が加わり「アジア選手権」となった今回、検疫の関係で韓国チームが参加できなかったのは残念でしたが、たくさんの方とお話ができ、また台湾チームとの交流もあり、とても楽しい大会でした。

天候は晴れ、しかしながら気温が高くなり 犬達の体調が心配だったのですが、グラスは暑さをものともせず元気一杯!! テンションも高くよく集中してくれました。

1ステージでは緊張と練習不足でグラスと息が合わず、トスミス! グラスも焦ってキャッチミス!!…。ポロポロとミスの連発でグラスの持ち味を生かせることが出来ないままタイムアップ。タープに戻り熱をもったグラスをクールダウンしながら謝りました。

練習不足の不安を緊張に変えてしまい、自分のプレーを忘れてグラスに負担をかけてしまった事、反省しました。

2ステージ「色々考えず、とにかく楽しもう!」とグラスに声をかけスタート。

気温が高くなりグラスの体力が気になりましたが グラスは1ステージより集中していて私のミススローをフォローしてくれるほど、お陰で安心してプレーできました。しかし練習不足は誤魔化せず、あまり良い内容ではありませんでしたがグラスと楽しくプレー出来たと思います。

今回も反省点の多い結果となってしまいましたが、台湾や他のチームのプレーを見ることで多くの刺激になりました。これからも自分自身もっと勉強し犬達と良いプレーができるよう頑張ります。

多くの方々に声を掛けて頂き、また多くの方々に応援して頂きました。本当に嬉しかったです。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



RESULTS 大会リザルト

● アジア選手権 ディスタンスの部

順位	氏 名	犬 名	住 所	犬 種	第 1 ラウンド	第 2 ラウンド	決勝ラウンド	合計
優勝	島本 圭悟	Beak	徳島県	ボーダーコリー	42	40	28	110
2 位	森脇 俊昭	BAHT	大阪府	ボーダーコリー	32	32	26	90
3 位	西山 哲也	ハンター	兵庫県	ボーダーコリー	32	34	18	84
4 位	三浦 杏奈	CHERRY	滋賀県	Gシェパード	34	31	13	78
5 位	間 禎永	Tachyon	福岡県	ボーダーコリー	28	32	17	77
6 位	横山 泰久	ナミ	高知県	ボーダーコリー	28	33	16	77
7 位	助定 潤司	モナ	兵庫県	ボーダーコリー	34	26	15	75

※ 以上7チームが決勝ラウンド進出

8 位	三浦 武也	CHERRY	滋賀県	Gシェパード	30	34	—	64
9 位	田口 佳奈	LUKE	岡山県	ボーダーコリー	37	22	—	59
10位	西山 祐真	サリー	兵庫県	ボーダーコリー	24	34	—	58
11位	渋谷 功	あんず	岡山県	ラブラドル	34	24	—	58
12位	榊原 吉隆	BethMarch	愛知県	ボーダーコリー	32	25	—	57
13位	田口 久善	SENNA	岡山県	ボーダーコリー	26	30	—	56
14位	団野 悦郎	Hitomi	大阪府	ラブラドル	26	30	—	56
15位	間 禎永	Grass	福岡県	ボーダーコリー	38	18	—	56
16位	竹山 和博	RIN	兵庫県	ラブラドル	25	29	—	54
17位	団野 悦郎	心	大阪府	ボーダーコリー	29	24	—	53
18位	荻野 隆行	ココ	大阪府	ラブラドル	30	23	—	53
19位	松尾 至	NOVA	長崎県	ボーダーコリー	31	22	—	53
20位	加部 真巳	Mai	大阪府	ラブラドル	24	28	—	52
21位	小林 郁夫	ウィンベル	広島県	Aシェパード	21	28	—	49
22位	藤田 淳	Mayano	兵庫県	ボーダーコリー	24	25	—	49
23位	山本 孝治	クク	兵庫県	ウィペット	16	32	—	48
24位	松村 昌志	Viva・ガッツ!	大阪府	ボーダーコリー	20	28	—	48
25位	田中 洋	メロディー	大阪府	ボーダーコリー	24	24	—	48
26位	西山 哲也	ATENA	兵庫県	ボーダーコリー	27	21	—	48
27位	島本 圭悟	Paul	徳島県	ボーダーコリー	28	20	—	48
28位	川崎 良輝	KOBE	兵庫県	ラブラドル	28	20	—	48
29位	小林 弘典	レック	岡山県	ボーダーコリー	29	19	—	48
30位	西川 順子	ヴィータ	熊本県	ボーダーコリー	31	17	—	48
31位	廣瀬 和利	PAL	広島県	ストロングアイ	29	18	—	47
32位	近藤 高弘	クッキー	広島県	ラブラドル	10	36	—	46
33位	安田 眞澄	JULIA!	兵庫県	ボーダーコリー	17	29	—	46
34位	友田 裕輔	リラ	奈良県	ラブラドル	25	21	—	46
35位	宮迫 裕二	トラッド	京都府	ボーダーコリー	26	20	—	46
36位	久保 晋一	みゆら	大阪府	ボーダーコリー	30	16	—	46
37位	榊原 吉隆	ファン・ディアス	愛知県	ボーダーコリー	32	14	—	46
38位	森川 耕平	向日葵	和歌山県	ボーダーコリー	28	17	—	45
39位	衣笠 拡敬	キャンディー	兵庫県	ボーダーコリー	19	25	—	44
40位	山口 朋孝	RUSTY	兵庫県	ボーダーコリー	20	24	—	44
41位	川崎 良輝	HYOGO	兵庫県	ラブラドル	23	21	—	44
42位	西内 勲	アニー	広島県	ゴールデン	19	24	—	43
43位	正木 成人	さくら	奈良県	フラットコーテッド	25	18	—	43
44位	小林 郁夫	ティアラ	広島県	Aシェパード	22	20	—	42
45位	吉野 義一	モーガス	熊本県	ウィペット	24	18	—	42
46位	小井 正	セベリアーノ	大阪府	ボーダーコリー	26	16	—	42
47位	渋谷 功	疾風	岡山県	ボーダーコリー	30	12	—	42
48位	横山まゆみ	ナミ	高知県	ボーダーコリー	9	32	—	41
49位	河上 徳次	Lupin	福岡県	ボーダーコリー	15	26	—	41
50位	宮迫 裕二	アイビー	京都府	ボーダーコリー	16	25	—	41
51位	田中 勝則	遥	兵庫県	ボーダーコリー	27	14	—	41
52位	高木 康市	ANDY	福岡県	ボーダーコリー	33	8	—	41



順位	氏 名	犬 名	住 所	犬 種	第 1 ラウンド	第 2 ラウンド	決勝ラウンド	合計
53位	榎 博昭	キューティー	大阪府	A Pブルテリア	18	22	—	40
54位	藤田 篤	Mayano	兵庫県	ボーダーコリー	32	8	—	40
55位	原田 恵介	パディ	兵庫県	ボーダーコリー	23	16	—	39
56位	田淵 義博	SOPHIA	京都府	ボーダーコリー	32	7	—	39
57位	上野平 寛	LEON	佐賀県	ボーダーコリー	20	18	—	38
58位	新津 芳博	Belle	静岡県	ボーダーコリー	22	15	—	37
59位	森脇 俊昭	EURO	大阪府	ボーダーコリー	22	15	—	37
60位	村上 幸三	ゲルファ	岡山県	Gシェパード	25	12	—	37
61位	黒田 昌克	ファティマ	兵庫県	ボーダーコリー	25	12	—	37
62位	三崎 彰午	美勇	和歌山県	ウェルシュコーギー	26	11	—	37
63位	江村 康秀	リオ	静岡県	ボーダーコリー	21	15	—	36
64位	田中 勝則	遼	兵庫県	ボーダーコリー	10	25	—	35
65位	山本 栄治	ラッキー	兵庫県	ダルメシアン	17	18	—	35
66位	岡本 俊之	陽菜	京都府	ラブラドル	15	19	—	34
67位	橋間 正信	J	東京都	ウィペット	27	6	—	33
68位	友田 雅美	ラム	奈良県	ラブラドル	16	16	—	32
69位	福尾 光一	BRUCE	岡山県	ボーダーコリー	22	10	—	32
70位	八木 卓也	A-mei	兵庫県	Aシェパード	24	8	—	32
71位	空野 正志	さいら	兵庫県	ボーダーコリー	10	20	—	30
72位	寺西 弘行	Rachel	大阪府	Aシェパード	21	7	—	28
73位	中島 忠彦	G・F・DOR	滋賀県	ラブラドル	17	10	—	27
74位	荻野 隆行	くらら	大阪府	ラブラドル	9	17	—	26
75位	八幡 誠	ボーイ	兵庫県	ストロングアイ	10	16	—	26
76位	大谷 光浩	NITRO	東京都	ボーダーコリー	10	16	—	26
77位	山本 憲治	ピース	兵庫県	ラブラドル	21	5	—	26
78位	山本 栄治	シータ	兵庫県	ダルメシアン	10	15	—	25
79位	長田 憲幸	GIN	兵庫県	ボーダーコリー	17	8	—	25
80位	橋間 正信	FIONA	東京都	ウィペット	19	6	—	25
81位	田中 洋	夢	大阪府	ボーダーコリー	20	5	—	25
82位	淀川 和馬	ラム	和歌山県	ボーダーコリー	9	15	—	24
83位	杉本 芳春	ウィッシュ	広島県	ラブラドル	10	14	—	24
84位	八木 卓也	エビア	兵庫県	Aシェパード	16	8	—	24
85位	正木 啓子	小菊	奈良県	ウィペット	20	4	—	24
86位	岩崎 勝人	オーブリー	兵庫県	ウィペット	13	10	—	23
87位	森川 耕平	弁慶	和歌山県	ボーダーコリー	15	8	—	23
88位	安川 茂之	Thankyou!!	京都府	N Z ハンタウェイ	16	7	—	23
89位	大谷 光浩	いであ	東京都	ボーダーコリー	9	12	—	21
90位	山下 浩司	楓花	兵庫県	ウィペット	10	11	—	21
91位	河上 徳次	CLARICE	福岡県	ボーダーコリー	18	0	—	18
—	井上 靖章	CAP	大阪府	Aシェパード	8	—	—	8
—	淀川 和馬	天	和歌山県	ボーダーコリー	8	—	—	8
—	後梶谷 昇	クローディ	兵庫県	Aシェパード	8	—	—	8
—	青田 好史	LIKE	兵庫県	ボーダーコリー	6	—	—	8
—	友田 裕輔	エミュー	奈良県	ボーダーコリー	6	—	—	8
—	小西 秀則	Sunway	大阪府	ボーダーコリー	6	—	—	8
—	長田 克志	GIN	兵庫県	ボーダーコリー	6	—	—	6
—	山本 孝治	ナナ	兵庫県	ウィペット	6	—	—	6
—	団野 悦郎	ケープ	大阪府	ラブラドル	0	—	—	6
—	加藤 幹彦	HANA・美	兵庫県	ボーダーコリー	0	—	—	0
—	田中 信彦	ウッディ	奈良県	ラブラドル	0	—	—	0
—	重広 高正	アッシュ	大阪府	ボーダーコリー	0	—	—	0
—	松村 昌志	パ〜ディ♪	大阪府	ボーダーコリー	0	—	—	0

RESULTS 大会リザルト



● アジア選手権 フリーフライトの部

順位	氏 名	犬 名	住 所	犬 種	第 1 ラウンド	第 2 ラウンド	合計
優勝	黒田 昌克	シャオロン	兵庫県	ボーダーコリー	76.59	89.41	166.00
2 位	田渕 義博	SOPHIA	京都府	ボーダーコリー	76.76	85.62	162.38
3 位	間 美加	Grass	福岡県	ボーダーコリー	67.73	84.80	152.53
4 位	南 浩一	グローリ	兵庫県	ボーダーコリー	70.78	81.12	151.90
5 位	呉 昆童	妮妮	台 湾	ボーダーコリー	64.31	71.97	136.28
6 位	石井 勝久	天天	大阪府	Aシェパード	68.09	67.98	136.07
7 位	杉尾 佳則	NOAH	兵庫県	ボーダーコリー	54.41	60.46	114.87
8 位	廣瀬 和利	PAL	広島県	ストロングアイ	63.99	47.07	111.06
9 位	何 財源	阿花	台 湾	ボーダーコリー	52.57	49.08	101.65
10位	沈 宏偉	STAR	台 湾	ボーダーコリー	41.53	58.80	100.33

● 親善記念レディース選手権

順位	氏 名	犬 名	住 所	犬 種	合計
優勝	福尾 舞	BRUCE	岡山県	ボーダーコリー	98
2 位	江村富美子	リオ	静岡県	ボーダーコリー	79
3 位	渋谷 典代	疾風	岡山県	ボーダーコリー	75
4 位	神谷まつり	蓮汰	熊本県	ボーダーコリー	66
5 位	松尾 直美	Nova	長崎県	ボーダーコリー	45

※ 以上5チームが決勝ラウンド進出

6 位	小西 和夏	Sunway	大阪府	ボーダーコリー	39
7 位	松原 早希	アスター	奈良県	ボーダーコリー	39
8 位	中村 優	恋子	兵庫県	ボーダーコリー	35
9 位	山田ヒロ子	Can2	岐阜県	Aシェパード	35
10位	東恵 美子	小次郎	熊本県	ラブラドル	34
11位	間 美加	Tachyon	福岡県	ボーダーコリー	34
12位	森川 綾	向日葵	和歌山県	ボーダーコリー	34
13位	加藤 理恵	歯維持	熊本県	ボーダーコリー	33
14位	南 優紀	グローリ	兵庫県	ボーダーコリー	33
15位	光井 美佳	ANDY	大阪府	ラブラドル	32
16位	杉本美由紀	ウィッシュ	広島県	ラブラドル	30
17位	小川真由美	ホームズ	静岡県	シェルティ	30
18位	西川 順子	ヴィータ	熊本県	ボーダーコリー	29
19位	松澤 典子	グレイス	兵庫県	ファラオハウンド	29
20位	榊原真由美	ファン・ディアス	愛知県	ボーダーコリー	29
21位	井手元ルミ	みゆら	大阪府	ボーダーコリー	28

順位	氏 名	犬 名	住 所	犬 種	合計
22位	加藤 明美	HANA・美	兵庫県	ボーダーコリー	28
23位	藤原 沙織	ニナ	兵庫県	Bタービュレン	27
24位	青田 恵子	LIKE	兵庫県	ボーダーコリー	26
25位	加藤 理恵	くらら	熊本県	ボーダーコリー	26
26位	藤原 尚子	朝陽	兵庫県	ラブラドル	26
27位	光井 美佳	FUGA	大阪府	ラブラドル	25
28位	杉尾めぐみ	NOAH	兵庫県	ボーダーコリー	24
29位	榊原真由美	BethMarch	愛知県	ボーダーコリー	23
30位	森山美代子	マリア	長崎県	ラブラドル	22
31位	上野平ミユキ	LEON	佐賀県	ボーダーコリー	22
32位	井上 仁美	アビス	兵庫県	ウィベット	20
33位	橋間 秀果	FIONA	東京都	ウィベット	20
34位	大谷 靖枝	いであ	東京都	ボーダーコリー	19
35位	上野平ミユキ	ラリ	佐賀県	シェルティ	18
36位	河村理恵子	ピース	兵庫県	ラブラドル	18
37位	井手元ルミ	もてな☆ふらっふ	大阪府	Aシェパード	11
38位	光井 美佳	TEANA	大阪府	ラブラドル	11
39位	八幡 瑛菜	ボーイ	兵庫県	ストロングアイ	10
40位	桧尾 里美	ベーパー	岡山県	Gシェパード	6
41位	鶴野 書子	ビギ	岡山県	ラブラドル	4
42位	武内 恵子	なぎ	岡山県	ゴールデン	0

● 親善記念小型選手権

順位	氏 名	犬 名	住 所	犬 種	合計
優勝	岡本 邦宏	ショコラ	兵庫県	ウェルシュコーギー	69
2 位	福原 芳郎	ミミ	兵庫県	ジャックラッセル	54
3 位	溝尾 美咲	Luz	広島県	コイケルホンディエ	51
4 位	緒賀 友繁	ワンダー	大阪府	ビーグル	45
5 位	古東 優子	Guy-Sport	大阪府	ウェルシュコーギー	39

※ 以上5チームが決勝ラウンド進出

6 位	堀井盛一郎	ぼん太	兵庫県	ウェルシュコーギー	24
7 位	古東 優子	Blue-Tiger	大阪府	ウェルシュコーギー	24
8 位	榎谷 博昭	銀太	大阪府	ウェルシュコーギー	24
9 位	溝尾 雅広	ピース	広島県	ウェルシュコーギー	22

順位	氏 名	犬 名	住 所	犬 種	合計
10位	井上 仁美	ビビ	兵庫県	ウェルシュコーギー	18
11位	足立 泰久	ラップ	兵庫県	ウェルシュコーギー	18
12位	溝尾 雅広	エリス	広島県	ウェルシュコーギー	17
13位	藤原 尚子	健太	兵庫県	ウェルシュコーギー	16
14位	奥山 正一	フェアリー	岡山県	ウェルシュコーギー	15
15位	上野 平寛	ビビアン	佐賀県	シェルティ	15
16位	岩角 美香	北斗	兵庫県	ウェルシュコーギー	15
17位	後堀谷 昇	グッチ	兵庫県	ウェルシュコーギー	11
18位	奥山 正一	ジュウエル	岡山県	ウェルシュコーギー	5

編集後記

梅雨も終わりいよいよ夏本番、暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

2005年度シリーズもすでに後半戦、全大会の3/4をすでに終了いたしました。『ジャパンファイナル2006』までの競技会もあとわずか、皆様におかれましては一層の努力をされていることと思います。終盤戦のご活躍を期待しています。

さて、昨年・一昨年と開催してまいりました日韓戦も3回目を迎え、今回から台湾選手の参加もあり、『フリスビードッグ アジア選手権』として、兵庫県赤穂郡の播磨科学公園都市において、去る6月4日(日)に開催、前日の6月3日(土)には、西日本カップを開催いたしました。

今回お届けした『SKY DOG SPORT Vol.14』では、今回のアジア選手権の大会レポートと、入賞された各選手の参戦記を中心にご紹介しています。

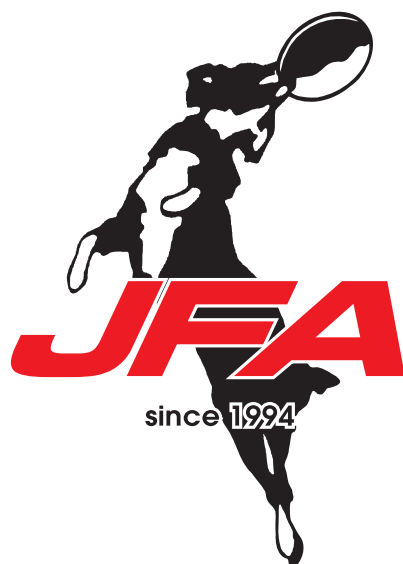
残念ながら、韓国選手の参加が直前でキャンセルとなりましたが、日本全国から集まったたくさんの選手に台湾選手を交え、和やかな中にもピリピリとした緊張感溢れるプレーの連続で、非常にレベルの高い競技会となりました。

日本フリスビードッグ協会では、今後も韓国・台湾のみならず、諸外国との交流を深め、フリスビードッグの発展に力を入れてまいりますので、今後とも、皆様のご協力をお願いいたします。



なお、夏期の競技会は、東北・北海道地区を中心として開催し、9月より後半戦の競技会を本格的にスタートしてまいります。

暑い日が続きますので、会員の皆様におかれましては、愛犬の健康管理、そして、皆様自信の健康にも十分に気をつけて、お過ごしください。



日本フリスビードッグ協会

〒951-8133 新潟県新潟市川岸町3丁目17番29号

TEL.025-234-2100 FAX.025-234-2101

URL <http://www.frisbeedog.co.jp/>